

渡航上の注意

この情報は外務省ホームページの中にある「ミャンマーの安全情報」と重複する部分もありますが、特にご注意いただきたいため、あえて記載しました。

- 【治安状況】

昨年クーデター発生以降、政情不安から軍関係施設、警察署、行政施設などを狙った爆発事案が発生しているため、これらの施設には絶対に近づかず、集会やデモの発生又は不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど、常に安全確保に留意してください。また、一般的に治安は良いと言われますが、近年の経済状況の悪化から、強盗、侵入窃盗、ひったくり、置き引き等が発生していますと、ご注意ください。

- 【撮影禁止場所】

軍人や警察官及びこれら関係施設、デモ隊や鎮圧活動を撮影すると外国人でも拘束対象となり、場合によっては禁固刑が科されるおそれがありますので、カメラや携帯電話を向けたり、撮影することのないよう注意して下さい。

- 【クレジットカード・現金の使用】

ミャンマーでは、ホテルや大型ショッピングモールを除きクレジットカードが利用できる場所は限られており、また、ミャンマー国内では日本円からミャンマー・チャット（現地通貨）への両替ができる場所は極めて少ないため、事前に必要額をドル現金で持参することが推奨されます。また、ミャンマー国内でドル紙幣を両替する際、汚れやしわのない新札同等の紙幣でないと両替を受け付けられないため、ドル紙幣の新札を用意しておくことが推奨されます。

- 【国外持ち出し禁止品】

国営店又は政府公認店以外で購入した宝石類を国外へ持ち出すことはできません。宝石類を購入した場合は販売店が発行する証明書を受領してください。無断で持ち出した場合は、没収や処罰されることもあります。また、金・銀・象牙・仏像・指定の野生動植物についても無断持ち出しが禁止されています。

- 【禁制品】

ミャンマーでは不法薬物や銃器の所持に対しては厳しい取締りが行われています。捕まれば重い処罰を受けることになりますので、不用意に他人からものを預かるなどして、事件に巻き込まれないように注意してください。

また、日本で合法的に処方された薬であっても、薬に含まれる成分、含有量などにより所持しているだけで、ミャンマーの法令上、違法と判断され、重罪に問われる場合があります。処方薬を持ち込む際は、事前に在日日本ミャンマー大使館に確認されることをお勧めします。

■ 【交通機関】

ミャンマーでは路線バスとタクシーが主な公共交通手段ですが、路線バスは複雑な系統で走っているため、事前に確認をしてから乗車する必要があり、また、スリの被害も発生しているため注意が必要です。タクシーは、夜間に単独で利用する女性がタクシードライバーにより暴行や強盗の被害に遭うケースもあることから、流しのタクシーではなく配車アプリを利用して乗車することをお勧めします。